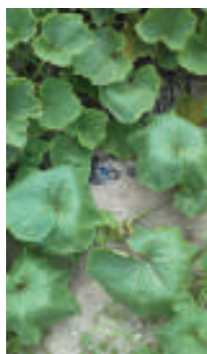


カエルーチ(黒)(0.018mm厚)の
実用性確認試験

JA伊達市

大滝 真



カエルーチの展張状況



サンブラックの展張状況

試験目的

カエルーチ(黒)(0.018mm厚)の実用性の検証

試験作物
及び品種

南瓜

試験資材
及び数量(規格)

カエルーチ(黒)(0.018mm×95cm×200m)

慣行資材

サンブラックマルチ(95cm×200m)

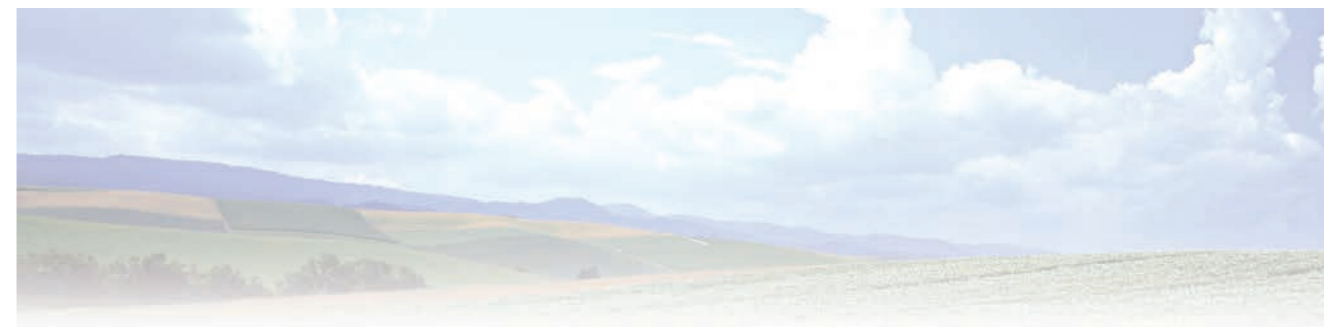
栽培方法

定植日

5月15日

資材使用期間

5月15日～8月20日



試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

マルチャー使用については、慣行品と変わらずテンションをかけて作業したが問題なく展張できた。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と変わらず問題なかった。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

崩壊性については、生育上問題なかったが慣行品よりも早く、鋤き込み作業が簡素化できた。

(4)促成・抑制効果について

慣行品と変わらず問題なかった。

(5)保温効果について

慣行品と変わらず問題なかった。

(6)雑草・病害虫の発生について

慣行品と変わらず問題なかった。

モニター感想

慣行品と生育状況も変わらず、問題なかった。作業性については生分解性マルチの方が強度が弱いと話を聞いていたが、慣行品と同じテンションで展張したが、問題なかった。

鋤き込みの作業性については、収穫後すぐ行ったが、試験品の方が崩壊が早く、作業しやすかった。

今後はハウス内でスイートコーンを作付し、その際には作業性を考えて生分解性マルチを使用したいと考えているので、優位な価格を設定していただきたい。

JA担当者の感想(生産資材課 中田主任)

慣行品と比べて問題ない結果となった。価格条件を含め、検討をしていきたいと思っている。

今後の使用について

継続して使用したい。

将来希望する資材について

安価な生分解性マルチ。

1 クリント

2 高温対策

3 害虫忌避効果

4 滑雪効果

5 生分解性マルチ

6 その他

7 酪農資材